

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般についてのご意見	施策の基本方針についてのご意見	地産地消による再エネ等の推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みについてのご意見	関連産業の集積・育成支援についてのご意見
1	4月13日	横浜市	80代以上	私は横浜市が推進している、横浜市市民の森を守る、鴨居原市民の森愛護会に所属していますが、気候温暖化の影響で、樹木を始め、植物の生態が影響を受け、季節外れの花が咲いたり、木の芽が委縮して正常に育たなくなったり。また、本来ならいるはずのない小鳥や動物、昆虫、害虫などが見つかっています。本条例を推進を行うにつき、市民の森始め街路樹や公園等の樹木や草花の育成に、最大限の力を入れ育成管理することにより、酸素同化作用を始め、もっと自然の力を活用すべきである。	施策の基本方針について賛成の立場から。再生エネルギーの問題は重要であることであるが、一般市民としてはやることが知れているが、自然を守る活動を推進している立場から、森の樹木伐採木や街路樹の剪定材を使ってバイオマス発電も一計ではないでしょうか。	トウモロコシの木を腐らかしてメタンガスを使ったバイオマス発電も地産地消になるのでは。		樹木の育成の力を入れてほしい。
お答え				ご意見を今後の参考にさせていただきたいと思えます	再生可能エネルギーに含まれており活用についても推進してまいります	下水バイオマスを活用したマルチエネルギーの研究もしており参考にさせていただきます。		ご意見を参考にさせていただきます
2	4月13日	横浜市	60代	方向性は良いと思う。	方針は良いが基本計画がいつまでに策定される必要があるか、その期限を明示すべき。	良いと思う。	商業ビルだけでなく一般家庭の省エネを、電球のLED化の推進等を予算を取って行うべき。	良いと思います。
お答え				ご意見ありがとうございます	基本計画は横浜市温暖化対策実行計画（平成30年10月改定）を指しており、既に策定していますが、次回改定の際に本条例案の趣旨を反映できるよう努めてまいります	ご意見ありがとうございます	一般家庭の省エネ化は大変重要であり、本条例案の柱の1つとなっております	ご意見ありがとうございます
3	4月14日	横浜市	50代	良い事だと思います。将来を考えて、今我々ができる最大限の努力をすべきだと思います。賛成です。	省エネと再エネをセットにしている事で、経済の影響が気になります。産業界が協力できる事を今後考える必要があるのでは？	横浜市全体で地域電力は難しいと思います。横浜市は18区あるので、各々の区ごとに特徴のある地産地消をすべきです。	大都市なので建築物の省エネは重要だと思います。ただ、建物オーナーが協力しやすい仕組みを整えないと進まないと思います。	政府が言う様に成長産業につながる事を期待します
お答え				未来の子供たちのためにもご協力お願い致します。	産業界の協力は不可欠であり、今後一層の協力をお願いしたいと考えております	各区の特徴を生かしたエネルギーの地産地消に取組んでまいります	建物オーナーに協力いただけるような仕組みづくりを進めていきたいと考えております。	横浜から発信ができればと考えています。
4	4月14日	横浜市	40代	市内企業が仕事につながる取り組みをお願いしたいです。脱炭素推進が経済の縮小によるものになってはいけません。脱炭素を、推進することが経済を活性化させる方向に向かわせるべきです。			高断熱住宅の推進のため、樹脂サッシの利用促進策、外断熱や空気層のある外壁材の利用促進策を推進してください。	
お答え				脱炭素社会の推進と地域経済の発展の両立を条例の目的としております			高断熱住宅を普及していくために、あらゆる取り組みを進めてまいります	
5	4月16日	横浜市外	60代	市民が条例をほぼ認識されていないと思います。	問題はありません。	1、清掃工場の電気を市の施設で消費することが肝要	ビルや戸建ての上に特殊塗料材を塗る。	原発に変わる水素発電がキーワードです。
お答え				ご意見ありがとうございます。少しでも認識いただけるように努力してまいります	ご意見ありがとうございます	既に市で取り組んでいますが、更に推進してまいります	ご意見を参考にさせていただきます	水素発電を進めてまいります

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般について のご意見	施策の基本方針について のご意見	地産地消による再エネ等の 推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みに ついてのご意見	関連産業の集積・育成支援に ついてのご意見
6	4月16日	横浜市外	40代	再生可能エネルギーへの転換と建物のエネルギー効率変換がメインで、抜本的な改革には見えませんでした。 人や組織の思考、価値観、行動パターンが変わるような観点が全く無いように感じません。 人間にとって、地球にとって、本当に必要なものがないか？何はいらぬのか？いらぬものや行動習慣を手放すことで、不必要なエネルギー産出も減ると思います。 そもそも人口が増えないといけないのか？埋立地は増えないといけないのか？建物はあれだけ都市部に密集したりする必要があるのか？自然を破壊し山を切り崩してきた開発を元に戻さなくてよいのか？食料を遠くから輸送しなくてはならないのをやめられるようにしたらどうか？市街でもできる有機農法をもっと推進したらどうか？土壌を痛める無機農法を成約したらどうか？多数の失職者を農業に従事できるように促せないか？土地の価格を段階的に下げていく中でも経済が回るようにできないか？本当に必要な大規模な事業が減り、金融の役割が減っていく中で金融の事業規模を縮小できないか。 そのような視点があっても良いのではないかと思います。また、今後の事業として、人の活動域を減らし、自然を取り戻す事業の育成を切望します。				
お答え				再生可能エネルギーを活用しながらみどりアップを推進してまいります。				
7	4月17日	横浜市外	20代	これからの時代を生きていくにあたり必要になってくる考えだと思います。この条例によって、横浜市、ひいては日本で脱炭素化の考えが広がっていくことを期待します。	ただコストをかけるのではなくリターンがあり、経済が循環する仕組みを作っていただけるとこの取り組みを長い時代続けていけるのではないかと思います。今後具体的な計画などを透明化していただくとありがたいです。	地産地消を目指していければ理想ですが、個人的な考えではありますが最初は難しいのではないかと思います。再エネについてのノウハウなどがある程度ついでから経済やエネルギーの地域循環を目指していただければと思います。	建物の省エネ化は多分普通よりコストがかかるのでしようが、行政が先頭に立ってやっていただければと思います。	
お答え				市民への周知に努め全国に発信していければと思います。	【案文修正】脱炭素の取り組みで地域経済が循環するサーキュラーエコノミーの視点を条例案に追加します	【案文修正】脱炭素の取り組みで地域経済が循環するサーキュラーエコノミーの視点を条例案に追加します	第11条で推進していければと思います。	
8	4月17日	横浜市	40代	行政・企業・市民にそれぞれ努力義務として責務を明確にしたことは、素晴らしいことだと思います。	再生エネルギーの導入等の中には、ウ エネルギーの使用の節約及び効率化、エネルギーの電化並びに電気の需要の平準化を図ること。が入っているもので、意味合い的には含まれると思うのですが、エネルギーを代替することと同様に、システムやプロセスを向上させ続けることで効率化・平準化を進めることの大切さも、表現として入れることができるとより良いと感じました。	地産地消の意義をは広く市民に理解していただくために、第15条で述べている学習の推進と普及啓発を形式的な部分に留めず、幅広く広めるアイデアを模索し続けて欲しいです。		地産地消を進めることと関連しますが、市民の生産活動や生活がより地域内で事足りることも有効だと思うので、移動することを否定しないまでも、代替できる消費や仕事環境をなるべく居住区内で済ませられることを積極的に推奨し、それを促進する施策や措置があると良いのではないかと考えた。
お答え				しっかりと取組んでまいります。	ご意見を参考とさせていただきます	15条の運用で更にと取組んでまいります		移動の制限は難しい部分もありますが減らす努力は必要と考えます。
9	4月17日	横浜市	50代	2050年のカーボンニュートラルを目指すために画期的な良い条例案だと思います。	市内経済の発展が掲げられていることが特徴的で必要なことだと感じました。		税や補助金などの優遇措置があれば取組みが進んでいくと思います。	再エネなどの新技術の産業を横浜から活性化させると経済と環境の両面で効果があると思います。
お答え				ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます		ご意見を参考にさせていただきます	【案文修正】脱炭素の取り組みで地域経済が循環するサーキュラーエコノミーの視点を条例案に追加します

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般についてのご意見	施策の基本方針についてのご意見	地産地消による再エネ等の推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みについてのご意見	関連産業の集積・育成支援についてのご意見
10	4月17日	横浜市	40代	方向性は良いと思います	方向性はよいとおもいます	横浜市の企業で再エネを推進している企業への補助金など積極的に進めるといいと思います	再エネを導入するよう推し進めるといいと思います。	
	お答え			ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます	本条例案の制定により推進していきたいと考えます	本条例案の運用により再エネの更なる推進を図ってまいります	
11	4月18日	横浜市	60代		電力の脱炭素化は、必須だと思いますので、その実現を図るための様々な具体的施策を今後期待しています。みい電などは、とても良いアイデアだと思います、それにより自宅は再エネ100%に転換するとともに、知人にも勧めましたが、ほかにも知恵を絞り、実現していただきたいと思います。			
	お答え				本条例案の運用により再エネの更なる推進を図ってまいります			
12	4月18日	横浜市	50代	地球温暖化の原因は本当に脱炭素化で解消できるのでしょうか。正直、疑問です。	行方を見守ります。	地産地消は良いです。が、日本国ぐらいの国土なら、自国内自国消費が最優先。国内の農工業を活性化すべし。	個々の取り組みはもちろん、地域全体で包括的にエネルギー必要量実態の分析、創出可能なエネルギーを考えるべき	省エネ産業振興を国債、ファンド化して事業創出し、GDP向上に繋げるべし。
	お答え			本条例案での取り組みが温暖化対策の柱となることを目指します	ご意見ありがとうございます	ご意見を参考とさせていただきます	ご意見を参考とさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます
13	4月18日	横浜市	60代	非常に良い取り組みだと思う	排出ガスの規制（例えば、マイカー通勤等）も織り込んで欲しい	海に面した土地柄だから効率を上げられれば水力利用の発電が最も効果的かと思う	地域と連携して認知度を高められるようにすると効果的でしょう。	どこまでを関連産業と認めるかが重要な要素となると思います。
	お答え			ご意見ありがとうございます	ご意見を参考とさせていただきます	ご意見を参考とさせていただきます	地域と連携して周知度を高められるよう推進して参ります	ご意見を参考とさせていただきます
14	4月18日	横浜市	40代	脱炭素に向けて努力することは賛成です。	炭素によるエネルギーの代替としての再エネ導入コストと試算、また効果の予測を全市民にわかりやすく伝えて欲しいです。	地産地消による再エネの導入には概ね賛成ですが、導入コストと資産、効果の予測を知りたいです。	概ね賛成です。	必要があるものに対策をこうじること賛成です。
	お答え			ご協力宜しくお願い致します。	分かりやすく伝えやすく努力してまいります	本条例案が成立した際には、その取り組みの議論の中で精査していきたいと考えています	ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます
15	4月18日	横浜市	60代	総論賛成	エネルギーマネジメントは国の安全保障にも大きな関わる問題であり、地方自治体のみで解決できることでは有りません。しかしながら、取り組みをはじめなければ進まないことも事実です。修整しながら、推進することは良いと考えます。	地産地消の割合を高める活動は賛成	コージェネレーションシステムを市が推進することが肝要。	助成金、補助金も大切ですが人材育成も重要と考えます。
	お答え			ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます	保土ヶ谷焼却施設の活用方法など取組んでまいります	人材育成は重要な観点で、第6条1号に明記させていただきます

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般についてのご意見	施策の基本方針についてのご意見	地産地消による再エネ等の推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みについてのご意見	関連産業の集積・育成支援についてのご意見
16	4月18日	横浜市外	40代	Pdgsは、脱炭素等の数値化目標よりも、むしろ生活な仕事を持続可能なスタイルに大小や皆でやる、個人でやるにこだわらずに、自由に取り組みましょうということなので、港横浜らしく様々な取り組みを世界に発信しましょう！	なし	有機農業を越えた再エネ農業にチャレンジするのもいいかと思います。綺麗な海を創出する取り組みも大事です。活用	一般住宅に蓄電池義務化、マンションの電力自給	関連産業的発想ではなく、あらゆる事業が関わる仕組みをもって切磋琢磨するのがベストです！
お答え				ご意見ありがとうございます		ご意見を参考とさせていただきます	第11条を運用し推進してまいります	ご意見を参考とさせていただきます
17	4月18日	横浜市	50代	是非進めて欲しい	迅速に法令化して欲しい	進めて欲しい	補助金等も必ずつけて、欲しい	進めて欲しい
お答え				ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます
18	4月18日	横浜市	60代	子ども達の、子ども達のために、今を生きる、私たちができること。現在と未来に取り組む責任政党として、再エネ・省エネ推進に全力で取り組んで参ります。同意し、支援していきたいと考えています。	同意します。特に脱炭素社会の形成を通じた市内経済の発展を図ること。	日本の中で横浜がモデルになっていくことが日本の発展につながると確信します。	一般住宅の 冬は暖かく、夏は涼しい高い気密・断熱性能の普及を支援しています。	同意します。
お答え				ご意見ありがとうございます	本条例の運用により市内経済の発展に取り組んでまいります	ご意見ありがとうございます	条例の制定により一般住宅の省エネ化をより一層進めてまいります。	ご意見ありがとうございます
19	4月18日	横浜市	70代	これだけの気候変動を感じており、出来るだけ早く対応を進めていくべきだと、強く思います。	具体的に進めて行って欲しい。	電力資源の効率化を考えると、望ましいと思います。	まだまだ省力化の努力を推進すべきです。費用がかかる場合は、支援も考慮して、推進しなければならないと思います。	
お答え				皆様のご協力をお願い致します。	ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます	ご意見を参考にさせていただきます	
20	4月18日	横浜市	50代	良いと思います	自然を大切にし、なるべく自然を減らさない事。	地熱を上手く利用する。	建物の大きさ制限、太陽光熱の義務付ける	・ゴミ処理方法・ゴミで人害が無い事・虐待の管理
お答え				ご意見ありがとうございます	大切なこと考えます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます
21	4月18日	横浜市外	60代	良くできていると思います。未然防止原則は地球温暖化対策法のアプローチになっていますので、自主規制や努力規定のみでなく、市の規制権限の拡大を図ってもよろしいかと思えます。シロクマ調停では、地球温暖化は公害でないと判示されましたが、地球人の存亡に関わる重大な問題です。一回の改正ではなく、地球温暖化の状況に合わせて小まめに改正すると良いと思います。頑張ってください！	概ね賛同いたします。	今後、絶対に重要なキーワードです。推進すべきです。	推進すべきです。屋根に太陽電池とか。	
お答え				必要に応じて改正を行ってまいります	ご意見ありがとうございます	ご意見ありがとうございます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見ありがとうございます

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日 時	お住まい	年代	本条例案全般について のご意見	施策の基本方針について のご意見	地産地消による再エネ等の 推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みに ついてのご意見	関連産業の集積・育成支援に ついてのご意見
22	4月18日	横浜市	50代	脱炭素社会は急務であると思いますので良いと思います。	再生エネルギーの利用等、企業や市民への支援と育成を進めて頂き、具体的に何をどう協力するべきかなど、わかりやすく周知し市民一丸となり進めるべきと思います。炭素を多く排出する産業や建築物については増税、創意工夫し削減したものには減税などもあっても良いのではないかと思います。			
お答え				ご意見ありがとうございます	ご意見を参考にさせていただきます			
23	4月18日	横浜市	50代	未来思考であれば小学校から必修科目として学べれば良いと思います。				地方の若者は東京神奈川に就職先を求める思考が有ると思います、関連産業に関わる専門学校入学支援や地方からの就職斡旋等が良いと思います。
お答え				ご意見を参考にさせていただきます				ご意見を参考にさせていただきます
24	4月18日	横浜市	50代	もう少し再生可能エネルギーの具体的なものを示した方が良いと感じました。	バランスのとれた内容だと思います。	建築物、施設等は地産地消が良いと思いますが、交通手段等は地消にこだわる必要はないと思います。	その他の措置には、補助金も含まれていると思いません。これで適切だと思います。	重要なポイントだと思います。もっと詳しく書いて推進を進めても良いかもしれません。
お答え				再生可能エネルギーの具体的な内容は、条例案第2条で引用する生活環境保全条例第146条の2及び同条例施行規則第90条の2で定めています	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます
25	4月18日	横浜市	50代	再エネの利用＝温暖化対策になるので推進すべきだと思います。	市と大学や専門研究機関との連携は必須だと思います。	市内で生産された再エネの有効活用推進のためのPRを様々な場面で行う事で市民意識の向上にも繋がると思います。	市民が利用しやすいよう税制上の措置は必須だと思います。	市内経済の発展のためにも様々な支援が必要であると思います。
お答え				ご意見ありがとうございます。	第3条2項並びに第13条（研究開発の推進等）で明記させていただいています	ご意見を参考に第15条で明記する普及啓発で取り組んで参ります	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます
26	4月18日	横浜市外	50代	そもそも論ですが、地球は寒冷化で温暖化はしていません。 日本は温暖化ですが、色々な農産物ができるようになり、世界的な食糧問題を回避できます。北海道でコシヒカリができる様になりました。 沖縄ではコーヒー豆が育ちます。 又二酸化炭素は植物の生育には必要で有り現状、植物が良く育つ環境に有ります。 植物が大型していた時代は今の4倍の二酸化炭素量です。 今後想定される世界人口90億人の時代には脱炭素など、もってのほかの悪になります。 それは、20年後に来るのです。 世界世論に騙されないようにしてください。	そもそも間違っております	そもそも間違っております	そもそも間違っております	原発の再稼働がコスト世界的動向から見ても良いです
お答え				ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般についてのご意見	施策の基本方針についてのご意見	地産地消による再エネ等の推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みについてのご意見	関連産業の集積・育成支援についてのご意見
27	4月18日	横浜市	60代	脱断続的社会的形成に向けた横浜市の責務、事業者の責務及び市民の責務を規定したこの条例案は、まさに時宜を得た政策提案だと思います。当社は、みなとみらい地区の地域冷暖房システムを通して、横浜市の環境政策に貢献していますが、事業活動への支援についても規定するこの条例に期待しています。	産業の育成、人材の育成に期待しています。	再生可能エネルギーの利用は、特にコスト面の課題が大きいため、事業者への支援が必要だと思います。		横浜市の環境ショーケースであるみなとみらい地区をモデルとして様々な施策を展開していただきたいと考えます。
お答え				ご意見ありがとうございます。	第6条の1号ならびに第12条で明記させていただいております	第8条で事業活動の支援を明記させていただいておりますので今後推進していければと思います		条例の制定により展開しやすくなれば良いモデルが出来ると思います
28	4月18日	横浜市	30代	CO2削減や自国でのエネルギー生成は本当に急務と思うが、制作の中に補助金だったりという具体的な指針が無い 条例は公文書なので仕方ないが、示されても普段耳慣れぬ言葉が多く理解し難い	良いと思う			
お答え				ご意見を参考にさせていただきます	ご意見ありがとうございます			
29	4月18日	横浜市内	60代	地球温暖化の影響は既に世界各地に大きな被害を与えている。横浜市の脱炭素社会への取り組みは各地方自治体へも大きな影響を与えると考える。率先して具体的な施策を実行すべきである。ただこの条例には原子力が含まれていない。福島原発の例もあるが、当初から省かれていたのか。	個々に施策を考えられているのは理解できるが、官民、大中小事業者の連携を進めるための基本方針を作成する必要があると思う。	再生化エネルギーの効果によって具体化は期待できると思う。	建築物の省エネ化は具体化しやすいと思われる。既に太陽光利用は広く活用されている。水力も古くから整備されているが実際に他の地熱、風力は投資費用に対してどの程度の効果が見込まれるのだろうか。横浜市だけで成果を図るのは難しいと思う。	横浜市だけをブロックと考えた場合、思い切った政策の決断が必要です。例えば交通網の再構築。分かり易く言えば、横浜市の指定エリアには自動車等乗り込ませないこと。代替として電気利用の鉄道との連携を推し進めるのはどうだろうか。関連産業をエリア限定で集積することによってより効果が期待できると思う。
お答え				本条例案は再生エネルギーの利用と省エネの徹底による脱炭素社会形成の推進を目的としています	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見ありがとうございます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます
30	4月18日	横浜市	40代	ゴミの焼却炉の数は1位:日本1243、2位:アメリカ351、3位:フランス188と世界の7割が日本という現状で、焼却するゴミを削減することが脱炭素への近道ではないかと思えます。特にプラスチックゴミを燃料化させる技術が進んでいる昨今、プラゴミを再利用したエネルギーを活用する企業へのインセンティブや税制の優遇等働きかけていくのはいかがでしょうか。				
お答え				本条例案は再生エネルギーの利用と省エネの徹底による脱炭素社会形成の推進を目的としておりますが、ごみの削減も脱炭素社会形成に向けて不可欠と考えております				

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日 時	お住まい	年代	本条例案全般について のご意見	施策の基本方針について のご意見	地産地消による再エネ等の 推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みに ついてのご意見	関連産業の集積・育成支援に ついてのご意見
31	4月18日	横浜市外	50代		特にありません。	特にありません。	この事も大切だと思います。夏は、涼しく冬は暖房性があり、また快適に仕事ができる環境は必須であると思います。	推進する事業者には、積極的に補助金という形で支援して、関連産業を活性化されるべきだと思います。また、ツアーなどを計画し、市民に関連産業についての理解を促進させることも重要だと思います。
お答え							ご意見を参考にさせていただきます	関連産業の支援については12条で、理解促進については15条に明記させていただいております
32	4月18日	横浜市	50代	いいと思いますが、SDGsという流行りに流されるのではなく、しっかり腰を据えていただきたい。	もっと素人にもわかりやすく、垣根を低くしていただきたい。	本当に根付いている方々を大切にしてください。地域に責任を持たない外からのひとが凄い！とならないように。	マンション政策ととにかく取り入れていただき、率先して普及していただきたい。	市外などの「先生」ではなく、市内人材をきちんといかしていただきたい。また、コミュニティではなく、しっかりハードに責任の持てる人材を活用していただきたい。
お答え				ご意見を参考にさせていただきます	分かりやすくお伝えすることはとても大切なことだと思っております	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます
33	4月18日	横浜市外	40代	私は 建設業で働いてるので、夏場は命に関わるような暑さの中仕事をしています。温暖化は深刻な問題だと 身を持って感じております	良いと思います			
お答え				ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。			
34	4月18日	横浜市	60代	数値目標と達成期限を規定いただきたいです。	賛成です。	賛成です。	賛成です。	賛成です。
お答え				ご意見を参考にさせていただきます	ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。
35	4月18日	横浜市外	60代	議会が関わるのか、関われないのか、議会の役割、責務を記載しなくて良いのか	基本計画はどのくらいのスパンで考えるのか？市民にとってわかりやすく、短期、中期、長期と年度を区切り、その時々時代の状況、ニーズにフレキシブルに対応できるようにしておいた方が良いと思う。いざ、実施計画の段階で対応させやすいと思います。	賛成	賛成	賛成
お答え				第14条により議会がかかわれるよう規定されております	基本計画は「横浜市温暖化対策実行計画」をさしますが、その計画期間についても当該計画改定時に議論していきます	ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。
36	4月19日	横浜市	50代	台風や地震災害で破損しやすい風力、太陽光パネル発電に反対致します。また、石油に代わるエネルギーとして提案されているようですが、電力は原子力で、案の主旨が違うと思います。自家用車やバスに太陽光パネルを付けている人は、キャンピングカーくらいなものです。	脱炭素に対して再生エネルギーという、ピントがずれた話で、何か利権的な物事に関わっている様に感じます。	まずは停止中の原発再稼働、国力をつけて更にクリーンなエネルギー開発へと向かう事を希望します。太陽光パネルや風力発電は、日本には不向きです。	もっと安全性の確保が検証された省エネ対策を。	ことに太陽光パネルはウイグル人の強制労働により生産されています。その様な事をもっと取り上げて、何が悪いのか、考えられる人の育成の方が大事です。
お答え				ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ウイグル問題について強い関心を持ちながら取り組んで参ります。また、「ビジネスと人権行動計画」に則り、太陽光パネルなどを設置していくことが望ましいと考えます

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般について のご意見	施策の基本方針について のご意見	地産地消による再エネ等の 推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みに ついてのご意見	関連産業の集積・育成支援に ついてのご意見
37	4月19日	横浜市	50代	地球にとって、現状として脱炭素の理念は、とても大切な課題だとは思う。が、しかし、生活の隅々にまで、石油製品が蔓延した状況を打破するには、大きな政策と、より細かな対策が必要になってくると思う。	(1)例えば自給自足塾のような、ノマド生活を体験出来る場所を確保し、そこから生産された野菜などを物販出来るようにする。 (2)神奈川県は広いので、津久井湖相模湖付近にはダムがあり水力発電をしているが、脱原発・脱炭素として、風の強い山あいに風力発電に伴う装備、又、人通りの多い市中の駅の歩道には、床面に人が歩くだけで発電する素材を敷く、利権問題で大変だとは思いますが、横浜市だけでも新設されるビル等には義務付けて有償設置、各家庭には太陽光発電パネルを無償設置とする。 (3)横浜に在する大企業から初め、脱炭素の取り組みについての企業目標を掲げて頂き、それらに伴う設置費などについては、市が助成金などを行う。 (4)(2)と重複するが、NPOやボランティア、大学等での課題として参加型の様々な取り組みをイベントなどで認知して頂く。ソーラーパネルの無償設置費を確保する為に、横浜及び神奈川県に入ってくる他県からの方から高速代に脱炭素税を徴収する。 (5)例えば国有林における、間伐材の利用として、塾生を公募し、講師指導の下、家具やインテリアなどを格安で販売し、その利益の一部を脱炭素としての活動に充てる。	間伐材の利用としての基本方針(5)のような取り組み、箱根等の温泉の販売、神奈川県にある名水の販売、自動車等のガソリンに対する脱炭素税、他県から自動車等の乗り入れ時の脱炭素税の徴収。	空調の調整。遮熱・防寒素材のカーテン。ソーラーパネル設置の義務化。	ノマド塾の開塾。アップサイクルによる着物のリメイク。端材を使ったインテリア。温泉車の巡回。名水車の巡回。粗大ゴミの再生。
お答え				ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます
38	4月19日	横浜市	50代	賛成です。	賛成です。	賛成です。	発生から解体までの30年から100年単位でのCO2管理をもっと意識できるようにしたいですね。	材料のロス無き仕事が増えるといいと思います。
お答え				ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます
39	4月19日	横浜市外	60代	一人一人が条例を身近に考えてもらえるよう短く小学生に分かるように先生方から伝えて頂き考える時間を作ってもらって為絵に書いてもらい、それを学校に貼ると、小さい頃から身近に考えていく良い機会となり将来に向かい気にしながら育ててほしい。		太陽光エネルギーは横浜は良い天気恵まれていましてので屋根につける方に支援対策を考え、またマンションやアパートなどにも太陽光発電システムを取り付けるか、個人薄型パネルなどベランダや陽のあたる場所に	太陽光発電システムの利用屋根に付けるのは当たり前ですが、アパートマンションの屋上につけ電気は公共の場で使うか(電気料がどの位使えるのかわからないので)、個人宅のベランダや陽のあたる場所に薄型パネルを設置し個人宅に流れる工夫したり備蓄して自転車や自動車などに使えるようにしたら如何でしょうか。移動式薄型パネルの開発を作って欲しい。台風や暴風ははずせるようにできるすだれ型など。	
お答え				学校での普及啓発は重要であり、第15条で運用していきたいと考えています		ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	
40	4月19日	横浜市	40代	横浜市の脱炭素社会の形成の推進について、平易かつ網羅的に記されていることは高く評価できると考えます。	産業と人材の育成の観点に言及されていることは評価できます。その他、地域の特性、事業者の業態、多様な市民の生活様式への対応が記されており、多様性に配慮した内容となっている事も評価できます。	地産地消の推進について言及されている事は評価できます。地産地消の概念について、他の施策との関連を鑑み、横浜市に関連した地域まで含めて解釈を広げられるようにした方がより現実的ではないでしょうか。	建築物への導入の促進について言及されている事は評価できます。税制上の措置に加えてその他の措置(補助金等でしょうか?)について言及されている事も評価できます。	関連産業の支援について言及されている事は評価できます。施策の基本方針にある、人材の育成についてもここで触れられては如何でしょうか。
お答え				ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	第9条で明記させていただいております	ご意見ありがとうございます。	第6条1号に記載させていただいております

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日 時	お住まい	年代	本条例案全般について のご意見	施策の基本方針について のご意見	地産地消による再エネ等の 推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みに ついてのご意見	関連産業の集積・育成支援に ついてのご意見
41	4月19日	横浜市	50代	「再生可能エネルギー等の導入等」の文言が全ての事項に出てきますが、具体性が無いため訴えかけるものがなく漠然としたものとしか捉えられません。市民への責務も条例に盛り込むのであれば補足でも良いので市民に対してどんなものがあるか、特徴、メリット、課題等の項目に分け分かりやすく説明する必要がありますと思う。	脱炭素と謳っているものであるからどれくらい減少できたかを定量的にチェックするシステムを基本方針の中に盛り込む必要があると思う。	市域内での有効活用事業支援には賛同します。その地域の地形、企業等の特質により再エネの算出にも差が発生するため、あまり同市での消費にごわない方が良いと思う。	本項目の記載が見当たらない。	企業だけでなく個人にも奨励金を設けて効果的なアイデアを生み出せるような仕組みを作って貰いたい。
	お答え			本条例制定により推進して参りたいと思います。	第14条で毎年度市会（市民）に実施状況を公表することになります	ご意見を参考にさせていただきます	第11条で明記させていただいております	ご意見を参考にさせていただきます
42	4月21日	横浜市	60代	具体的なイメージが湧きませんでした。				
	お答え			本条例を元に、次は具体的な政策に落とし込んで参ります				
43	4月21日	横浜市	30代	本条例制定に関して賛成です。脱炭素社会に向けて日本最大の政令市である横浜市が率先して取り組むことにより日本の他の市町村、またY-PORT事業を通じて海外にも大きな影響を与えたいとおもいます。また、本条例は再生可能エネルギーや革新的なエネルギー利用（省エネ）を中心とした条例となっておりますが、今後脱炭素社会の実現に向けて、例えば、産廃税のような廃棄物を排出することに対して税金を課す条例や、プラスチックの再利用を促進するような条例もあっても良いかとおもいます。	基本方針について賛成です。	Zero Carbon Yokohamaに掲げている横浜市の再生可能エネルギーの導入目標のうち、92%を市外からの調達が必要とあります。市内からの調達を優先として市外からの調達は、どうしても調達できない場合のみとしたほうが良いかとおもいます。	横浜市内は近代的な建物と伝統的な建物が入り混じった街が多くあるとおもいます。最新の商業施設はもちろんのこと戦後、高度経済成長期～バブル期に作られた建物の改修や省エネ化を進めていただきたいとおもいます。他方で伝統的な施設に関してはLED一辺倒ではなく、その建物の情緒も大切にしてくださいといった臨機応変に対応していただけたらとおもいます。	市内企業の技術を活用し、それを日本の他都市や新興国に波及させることにより市内経済の活性化にもつながるとおもいます。なので、そのような技術を持つ企業を積極的に育成・後押しをするような制度を期待します。
	お答え			ご意見を参考にさせていただきます	ご意見ありがとうございます。	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	第12条の運用でまさにそれを狙いたいと考えております
44	4月21日	横浜市外	40代	市、事業者、市民、研究機関等の役割を明確に規定しており、脱炭素社会実現に向けて大きな推進力になると思います。	脱炭素社会に実現には市民の協力が不可欠であると考えます。脱炭素社会実現への市民の理解と知識の向上を目指すことも基本方針に加えてはいかがでしょうか。	地産地消は再生エネルギーの拡大を大きく後押しするものと考えます。	取組を促進する方策として、税制上の措置その他の措置・・・とありますが、税制上の処置は大きな促進策となると考えます。第10条に規定する事業や及び市民の支援措置として、同様の税制上の支援策をとることは大きな後押しになるかと思いません。	日本の産業構造と生活様式が大きく変化しつつある今日 脱炭素社会の形成は、環境問題を解決しつつ 永続的な社会経済の発展の礎となることは間違いないところでは、横浜市は関連産業の育成・集積に、すべての点に於いて有利な条件が揃っており、これを支援する措置をとることは、脱炭素化社会実現の要であると思います。
	お答え			ご意見ありがとうございます。	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	第12条の運用でまさにそれを狙いたいと考えております
45	4月23日	横浜市	60代	今後の温室効果ガスの排出を抑制するには、このような条例は、必須であると思います。	施策の基本方針は、条例可決に不可欠であり大変意義あると思います。	再生エネルギーの活用は、脱炭素社会に不可欠です。	ソーラーパネルの活用など省エネが必要だと思います。	
	お答え			ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見ありがとうございます。	
46	4月23日	横浜市	40代	横浜市の政策としてしっかりと取り組んで欲しい		地球に不可をかけない再エネを浸透させていってほしい	今後どんどん省エネ化を一般化して、進めていくべきだと思う。	
	お答え			ご意見ありがとうございます。		ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般について のご意見	施策の基本方針について のご意見	地産地消による再エネ等の 推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みに ついてのご意見	関連産業の集積・育成支援に ついてのご意見
47	4月23日	横浜市外	50代	本条例案は横浜市の脱炭素化促進を通してSDGs達成に貢献すると推察します。是非実施して頂きたいと考えます。	構成に地域循環社会の実現を促進する事項も加えていただきたいと考えます。	現状把握を行って進める為地産地消の現状を横浜市が常時把握できる事も追記して欲しい	省エネ化の基準に対応している状況を把握できる仕組みを導入して欲しい	横浜市市内の関連事業者での横の連携を支援して欲しい。
お答え				ご意見ありがとうございます。	【案文修正】脱炭素の取り組みで地域経済が循環するサーキュラーエコノミーの視点を条例案に追加します	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	第12条の運用でまさにそれを狙いたいと考えております
48	4月23日	横浜市	50代	内容全般について全く異論はありません（以下、同様） ただ本件は横浜市のみならず、日本国を挙げて取り組むべき非常に大きな問題です。 従って、「なぜ、この条例を制定するに至ったか」「意義や意気込み」が示された「前文」を掲げては如何でしょうか？ たとえばこの「パブリックコメントのお願い」の冒頭の2段落のような文章です。	あまり具体的な数値を掲げるのは条例として難しいかもしれませんが、菅総理は所信表明演説で明確に「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします」と表明しています。「基本方針」として、何らかの数値目標を掲げた方が、市民の皆さんに目指すものを具体的にイメージしていただけたらと思います。	次の第9条で「市域外で生産された再生可能エネルギー等の市域内への導入」がうたわれています。その意味ではこの第8条（地産地消）にも、「市域内で生産されたものの市域外への融通」といった一文を入れておかれては如何でしょうか？ もしくは第8条と第9条をひとつにされてもよろしいかと思われま。		
お答え				【案文修正】前文を追加させていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます		
49	4月23日	横浜市	50代	総論賛成、各論反対。 配慮なき補助金投入や産業規制などにつながらないことを望む。東日本大震災後の再エネ推進の失敗を繰り返して欲しくない	再エネ拡大は日本では産業の衰退と紙一重。脱炭素は大事だが、将来のエネルギー構成を考えない限り、原発をどうするか判断しない限り、目標達成不可能だと思う。横浜市における二酸化炭素排出の構成を考えると多くが発電、重工業、物流(特に船舶)であり、市内産業の衰退を招くことのないよう留意して進めるべき。	各家庭や学校レベルではよいと思う		
お答え				ご意見を参考にさせていただきます	ご指摘の懸念事項は重要な視点だと認識しております。第12条で市内経済の発展を意識します	ご意見ありがとうございます。		
50	4月23日	横浜市	50代	大変重要なことだと思います。市、事業者、市民の責務を明確にし計画を持って推進していくことが重要と考えます。特に市において温暖化対策実行計画なるものが策定されておりますが1年ごとに成果を発表できなければ絵に描いた餅と言わざるを得ません。きちんと1年ごとに結果と目標を明確にして危機感を持った対応を望みます。	6-（1）で市内経済の発展が謳われていることはとても良いことだと思います。市は市外事業者よりもっと市内事業者に目を向けるべきだと思います。 (6) -5は非常に大事な観点だと思いました理由はコロナ化であるということもあり市民の多くは気候変動より防災に耳を傾けると考えます。防災から地域課題解決、そして気候変動に繋がっていくことが市民の理解に繋がると考えます。	第8条で地産地消を明記することは重要なことだと思います。市は12市町村連系で安易に市内の再エネ調達を考えているように思います。まずは地産地消ありきです。今後、12市町村連携でメインの発電源は洋上風力だと認識しておりますが洋上風力はまだまだこれからの発電源だと思いますのでそこに頼るのは危ういと思います。	税制上の措置が無ければ加速しないと思いますので賛成です。	
お答え				第14条で毎年度市会（市民）に実施状況を公表することになります	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見ありがとうございます。	
51	4月24日	横浜市	30代	大いに賛同致します。	SDGsの考え同様、次世代まで睨んだ施策、大変重要だと思います。	災害等の観点からも大変大事と考えます。	税制上の処置などで、普及率を高めて頂きたい思います。	
お答え				ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	エネルギーの地産地消が進むことで災害に強い街を目指します	ご意見を参考にさせていただきます	

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般についてのご意見	施策の基本方針についてのご意見	地産地消による再エネ等の推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みについてのご意見	関連産業の集積・育成支援についてのご意見
52	4月24日	横浜市	40代	支持して参りたいと感じました。	支持して参りたいと感じました。	青葉区で農業に従事しております。周知の通り、後継者不足による農地の荒廃が今後ますます加速して行くことが懸念されています。農地を活用したソーラーシェアリングに小規模ではございますが取り組んでおります。ぜひ、ソーラーシェアリングによる農地の有効利用をご支援いただきたいと思います。		
お答え				ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	都市農業の盛んな横浜では農地でのソーラーシェアリングも貴重な電源と認識しています		
53	4月24日	横浜市	40代	是非とも、早くに進めていただきたい内容です	賛同いたします。		横浜市エコリノベーションなどを使い、利用者へ世界との断熱基準を説明しておりますが「基準を考えたことはなかった」とのお話を頂戴します。でも実際に利用者は「寒い、暑い」を感じ、エアコンをつける生活を送っています。横浜市を発信として基準を設けることも1つと思います。そして何より利用者に、家にいることが多い、女性にわかりやすい発信をお願いいたします。	
お答え				ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。		ご指摘の通り、男女問わず多くの方々にもご理解いただけるような取り組みが重要だと考えます	
54	4月25日	横浜市	50代	再生可能エネルギーを導入することは重要です。もっともなことで存じます。	こちらももっともなことで存じます。	農作物は少し位高くても、形が悪くても地元で消費することは重要です。	屋上に太陽光発電を進めていく。太陽光をできるだけとれる建物を作ることが重要です。	エネルギー問題に取り組む会社への援助を進めて欲しいと思います。
お答え				ご意見ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。	農産物の地産地消については同じく議員立法した横浜市地産地消推進条例で規定しています	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます
55	4月25日	横浜市	20代			既存の電力会社による集中型の電力供給から、市場原理を取り入れた分散型、「地産地消」の業態へと移行できる素地をここ、横浜市から生み出してほしい。	条例による規制の措置と、補助金による経済的援助を組み合わせながら、太陽光やコジェネレーションシステムの導入を推進してほしい。	
お答え						まさにご指摘の市内各地域分散型の地産地消を進めていきたいと考えています	コジェネレーションシステム化は最も重要なポイントの1つと考えています	
56	4月25日	横浜市	40代	近年の気候変動を考えると脱炭素化は市民全員が念頭に置いて行動すべきであると思います。市として枠組みを作ることに賛成します	市が発注する事業に使用する器具工具などを、性急に充電機器に変えたりする事には反対です。火力発電、バッテリーの処分など却って環境負荷を増す事に成れば逆効果であり、運用には数年単位の猶予期間を設けるべきと考えます。	賛成します	税制上の優遇は市民にとっては有り難いと思います	みどりを増やし育てることは、大気中のCo2の削減に直接の関わりが有る分野です。出す方を減らすと共に取り込む事も推進して頂きたいと思えます
お答え				ご意見ありがとうございます。	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見ありがとうございます。	ご意見を参考にさせていただきます	省エネ、再エネ化とともに緑アップを進めて参ります

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日 時	お住まい	年代	本条例案全般について のご意見	施策の基本方針について のご意見	地産地消による再エネ等の 推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みに ついてのご意見	関連産業の集積・育成支援に ついてのご意見
57	4月25日	横浜市外	50代	未来を担う子供達にバトンを渡すために不可欠な条例だと思います。	防災については、更に深化させて頂きたいと思えます。	作ったエネルギーを地産地消する事は大切だと思慮致します。エネルギーを生み出し消費している取り組みを、全ての方々に解り易く見える化して頂きたいと思えます。	地震に強い耐久性に優れた建築物及び省エネ化を推進し進める為の様々な仕組みを講じる事も大切だと思えます。	育成の為の資金補助や明確な窓口の一本化、申請等の簡素化が必要かと思えます。
お答え				ご意見ありがとうございます。	エネルギーの地産地消が進むことで災害に強い街を目指します	取り組みについては毎年度実施状況を公表することになり、解りやすい公表になるよう取り組んで参ります	ご意見を参考にさせていただきます	申請の簡素化は条例を運用していく中でも大変重要だと考えています
58	4月25日	横浜市外	50代	横浜市が本気で温暖化のリーディング行政を目指すのであれば、「温暖化対策」専任担当の副市長を任命した上で「温暖化対策統括本部」を縦割り行政組織の全ての部局の頂上に位置づけると共に、各部局との連携を定常化するべきだと思えます。	「人材の育成」に関して、「次世代」を強調すべきと思えます。特に子ども達の環境意識を高める事で、次世代における日常生活のレベルが高いエリアイメージ（ブランド化）を目指して欲しい。である事を定着させる事が出来ます。	18区、それぞれの地域の特徴を考えた戦略を市民に明確に提示すべきです。隣接区との関わり方も重要です。さらに市境界を越えて隣接自治体との連携も必須です。そのような広域エリアとの関係を市民に意識させるフレーズを追記して欲しいものです。	横浜市は他の行政に比べ、建設行為における緑化条例の制定が遅かったです。当該条例においても排出抑制だけでなく、積極的に環境保全のための緑化素材の推進について触れる事で建設行為者の意識を変えるべき。	そのような企業が地元にあることを近隣市民に知らせる事で「地域プライド」育成につながる企画が欲しいですね。
お答え				脱炭素化責任者(CZO)を任命するように働きかけるとともに、組織体制の強化を求めてまいります	ご意見を参考にさせていただきます	各区の特徴を生かしたエネルギーの地産地消に取り組んでまいります。また、今後は隣接自治体間の協力も必要になると認識しています	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます
59	4月25日	横浜市	50代	良し				
お答え				ご意見ありがとうございます。				
60	4月25日	横浜市外	20代	頑張ってください。応援しています。			太陽光パネルを設置すると、梅雨の時期や日光不足の時に対応できるのか。また、防災の観点からもパネルが流された際の危険性などで望ましくないのではないかと。国会では、経済安全保障の観点から、中国製の多い太陽光パネルは望ましくないとの意見も多い。こうしたリスクを総合的に考えておきたい。	
お答え				ご意見ありがとうございます。			「ビジネスと人権行動計画」に則り、太陽光パネルなどを設置していくことが望ましいと思えます	
61	4月25日	横浜市	50代	横浜市脱炭素社会の形成の推進に賛同します。				
お答え				ご意見ありがとうございます。				

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般についてのご意見	施策の基本方針についてのご意見	地産地消による再エネ等の推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みについてのご意見	関連産業の集積・育成支援についてのご意見
62	4月25日	横浜市	50代	この条例案に対して下記の点から意見・提案したいと考えております。これまでの横浜市の温暖化対策は、セミナーやフォーラムを通じて地球環境の危機を訴え、個々の市民や企業に省エネ行動を求めるといった、どちらかというと啓蒙活動が中心の動きになっていました。一方で脱炭素社会の形成を急速かつ本格的に進めるには、私達の暮らしを支える産業経済のあり方を抜本的に変えていく必要があります。 「Waste（捨てる）」というリニア（直線）型経済システムを、「廃棄」されていた製品や原材料などを新たな「資源」と捉え、廃棄物を出すことなく資源を循環させるサーキュラーな経済の仕組みへと変えていくことが、SDG sの観点からも重要であり、それを踏まえたくて条例を制定すべきだと私たちは考えます。そしてこの脱炭素社会を推進する循環型経済（サーキュラーエコノミー）を市域で展開していくうえで、肝となるのが太陽光発電や風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーのあらゆる社会経済活動への導入です。それによって、防災・減災など横浜市が直面する地域課題を解決するための新しい道も切り拓かれます。 脱炭素社会形成に欠かせないまた、市民や市内企業が一生使い続けるエネルギーへの支払いや税金を、域外に流出させるのではなく、エネルギーも経済も域内でしっかり回すことが大変重要だと考えています。 横浜市には中小企業振興基本条例がありますが、市内事業者を下請けで使うからいいだろうという発想ではなく、市内の事業者で出来るエネルギー関連の公共事業は、市内事業者任せ、市内の事業者で出来ないことのみを市域外の事業者へ助けを求めることが重要だと考えています。横浜市のことを自分ごととして考えられるのは市内事業者です。循環型経済の考え方から、エネルギーの域内での地産地消においても市内事業者が中心となって担っていくべきだと考えをこの「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例」（仮称）においても強く反映すべきだと提案します。	大変素晴らしい、画期的なものだと思います。あえて申しますと、この基本方針を着実に進捗させる組織構築と、バックキャストとKPIによる年毎の目標設定で脱炭素目標に向けて着実な進捗をお願ひしたいと思います。	一般住宅の太陽光発電や蓄電池の補助金を強く望みます。	ZEHやZEBなど積極的に推進していただければと思います。	横浜の企業の約99%が中小企業です。シンク スモール ファースト「横浜の背骨は中小企業」という視点でお願いできれば幸いです。
	お答え			【案文修正】脱炭素の取り組みで地域経済が循環するサーキュラーエコノミーの視点を条例案に追加します	取り組み状況は毎年度議会に公表する規定となっておりますが、毎年度の進捗把握も大変重要だと考えます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	市内中小企業の皆さんによる循環型経済の促進を図ってまいります。
63	4月26日	横浜市	40代			太陽光発電や蓄電池の補助金を手厚くしてほしい	自家消費太陽光発電や、BCP対策の蓄電池、V2Hなどの補助金を手厚くしてほしい	
	お答え					ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	
64	4月26日	横浜市	20代			太陽光・蓄電池の補助金をしっかり出して欲しい		
	お答え					ご意見を参考にさせていただきます		
65	4月26日	横浜市	20代	横浜市が脱炭素への取り組みを本格化するために条例を制定することに賛成いたします。		脱炭素や再エネについて、「学習ができる」「情報を得られる」場所が必要になるかと思います。温暖化が私たちの生活にどう影響しているかは、目に見えにくいので、それを具体的に伝える能力が必要だと考えます。		
	お答え			ご意見ありがとうございます		脱炭素化の進捗に対する見える化についてより分かりやすく取り組んでいきます		

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般について のご意見	施策の基本方針について のご意見	地産地消による再エネ等の 推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みに ついてのご意見	関連産業の集積・育成支援に ついてのご意見
66	4月26日	横浜市外	40代			<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電や蓄電池を設置する際、また再生可能エネルギー電力の供給に関して、市外の大手企業ではなく、市内企業が活躍できる場にしてほしい。 ・電力販売において再エネ電源の供給を促進する為に、市内FIT発電の再エネ特定卸し契約を市内の小売電気事業者にし、また市内需要家の電気代が上がらないように再エネ電源に対して補助金を出して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・断熱性能を国の基準よりも高いレベルにして、本気でゼロ・カーボン横浜を目指して欲しい。 	横浜市へは日本はもちろんのこと、世界の各所から年中無休で人はもちろんのこと、モノが動いています。首都圏の大学などの研究機関とも協力しながらシステムを構築してほしいです。
お答え						ご意見を参考にさせていただきます	断熱性能の向上は横浜市における脱炭素化の鍵となりますので、取り組んで参ります	海外も含め市内外の研究機関と協力し、イノベーションを興していかなければ、脱炭素化は難しいと考えています
67	4月26日	横浜市外	40代	国連の提唱したSDGs（持続可能な開発目標）17の指針の中の7番目の目標に「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」が掲げられております。政令指定都市である横浜市が先駆けて条例を制定することは素晴らしいことだと思います。	世界随一の貿易都市である横浜市。基本方針の中にもやはり、外国との関わりについても記した方がより細かく丁寧になるのではないかと思います。	地産地消における再エネはとても重要です。市民はもちろんであるが、生産者や事業者を含めての意識づけがとても大切になってくると思います。	私の家では、太陽光発電システムを取り入れていますが、国の買い上げ価格は下がる一方で今後どのようにしていったらいいのかを検討しているところがあります。まだまだ、国、都道府県、市町村の支援は必要と感じています。	
お答え				ご意見ありがとうございます	ご意見を参考にさせていただきます	分かりやすく意識づけできるよう努めてまいります	今後よりいっそう、国、県は勿論、他都市との連携を深めて参ります	
68	4月26日	横浜市	40代	太陽光、蓄電池の補助金を高待遇で出してください。				
お答え				ご意見を参考にさせていただきます				

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日時	お住まい	年代	本条例案全般について のご意見	施策の基本方針について のご意見	地産地消による再エネ等の 推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みに ついてのご意見	関連産業の集積・育成支援に ついてのご意見
69	4月26日	横浜市	30代	<p>菅首相が「2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す。さらに、50%の高みに向けて、挑戦を続ける」と新たな目標を公表されました。</p> <p>横浜市内の再エネ普及と経済活性化の為に、本条例を是非実行に移して頂きたいと思っております。</p> <p>また、再エネ普及についてですが、太陽光の新しい普及方法としてPPA(初期費用0円設置)が普及しつつありますが、一般住宅向けには契約期間が17年程かかる事や蓄電池をセットにすると、さらに期間が延びるか若しくは収支が成り立たなくなってしまうかと感じています。</p> <p>その為、イニシャルコストを下げる為に太陽光+蓄電池向けの補助金が必要だと感じています。</p> <p>再エネに注目しがちですが、省エネも重要なポイントです。</p> <p>現在、エアコンの空調には冷媒ガスに「代替フロン」が使用されておりますが、こちらは地球温暖化係数が高く環境負荷が大きいものとなります。廃棄の際にも冷媒ガスを高温で焼却する必要があり、多くのCO2が発生します。</p> <p>一方でノンフロン自然冷媒というオゾン層破壊係数（ODA）0、地球温暖化係数（GWP）3と地球環境に対する影響が極めて低い製品があります。</p> <p>既存のエアコンガスを代替フロンからノンフロン自然冷媒に入れ替えるだけです。</p> <p>冷媒ガス自体の作業効率がよく、代替フロンに比べ電気消費量が少なくなります。</p> <p>2〜3割程度の電気使用量が削減できます。</p> <p>東京理科大学の教授にも共同で検証していただいている製品です。</p> <p>まずは、市有施設への導入から実行していきたいです。</p> <p>再エネと省エネの両側面からアプローチを行い横浜市内の再エネ普及と経済活性化を行ってまいります。</p>				
	お答え			ご指摘のように、再エネと省エネの両側面からアプローチを行い横浜市の脱炭素化と経済活性化を行ってまいります				
70	4月26日	横浜市	30代			横浜の電力会社をもっと広めたい・広めるべきだと思う。		
	お答え					ご意見を参考にさせていただきます		
71	4月26日	横浜市	20代		市外の大手では無く、市内業者を活用して欲しい	土地が少ない神奈川県では、屋根がし事業やソーラーシェアリングに対する補助事業をお願いしたい		
	お答え				市内中小企業の皆さんによる循環型経済の促進を図ってまいります。	ご意見を参考にさせていただきます		

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例（仮称）」素案に対するご意見（パブリックコメント）へのご回答

	日 時	お住まい	年代	本条例案全般について のご意見	施策の基本方針について のご意見	地産地消による再エネ等の 推進についてのご意見	建築物の省エネ化等の取組みに ついてのご意見	関連産業の集積・育成支援に ついてのご意見
72	4月26日	横浜市	30代 60代	エネルギーに偏り過ぎ。脱炭素社会＝エネルギー問題では無い。しかも再生可能エネルギーに偏っている。国の計画を見てもこのようなストラクチャーではない。これで、脱炭素社会の条例とってしまうと、省エネや地域でのエネルギーコントロール、まちづくりそのものの脱炭素化、水素社会などの出番が無くなってしまふ。条例改正をその都度行う羽目になってしまうのが心配。	都市構造を変えて行かない限り、落としきれない。エネルギー多消費型の産業をどうするのか。都市力そのものに関わることなので長期のビジョンが必要。	地産地消は基本ではあるが、穏やかな港町で風力は厳しい、地熱も水力も出来ない。バイオマスの賦存エネルギー量も小さい。従って、横浜のようにエネルギー使用の多い都市ならば、地域外からの再エネ確保も重要なテーマとなる。環境と経済の好循環であり、地方創生にも繋がる取り組みを入れて行くべき。大都市の独り勝ちになるような施策はSDG sとも整合が取れない。	法律の内容であり、税制上の措置その他の措置では横浜の先進性が示せない。	脱炭素社会の形成に関連する産業の育成及び集積だけが関連産業ではなく、地球環境に前向きな企業が横浜に展開していくことが重要だと思う。
お答え				本条例は再エネに加え、省エネの推進による脱炭素化を目指しており、また水素などの活用もしてまいります	ご意見を参考にさせていただきます	第9条において再生可能エネルギー等を通じた連携の推進を規定しております	議員提案条例として現状考えられる最大限の表現とさせていただきます	その通りだと考えます
73	4月26日	横浜市外	40代	再生エネ推進賛成です環境を守る。ゴルフ場、牧草地、田畑等規制に漏れてる場所などの開発を抑制しないと泥水流失等の問題が出てきますので同時に配慮をお願い致します	再エネ開発に環境、景観を配慮する物を加えてみてはどうでしょうか		ZEBエネは大事です。	ZEBプランナーの育成もお願い致します
お答え				ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます		その通りだと考えます	ご意見を参考にさせていただきます
74	4月26日	横浜市	40代	再生可能エネルギーの導入促進を中心とした脱炭素に向けた条例整備をしていただけることで、市民の意識もさらに醸成され、より前向きな行動が喚起されることから、大いに賛成です。	子どもたちの未来に向けて、脱炭素化への行動は、急務です。そうした観点から、再生可能エネルギーの利用促進を様々な形で推進していくことは、素晴らしいことだと思います。	市内公共施設だけでなく、関心度の高い環境関連事業者等の施設においても再生可能エネルギー設備の導入を促進し、市内循環の一助となる取り組みを進めるべきだと思います。	前項でも記載した通り、取り組み推進について賛成です。税制優遇、補助金事業等積極的な支援をいただければと思います。	再生可能エネルギーの設備の主流を占める太陽光パネルは、現在老朽化を迎えているものは中国製等の粗悪なものも見られることから、なかなかリサイクルが難しい現状がある。子どもたちの意識醸成に向け夏休みに募集を行っている環境絵日記は、SDGsをテーマに募集を行っており、一昨年は中止を余儀なくされたものの、今年度は、復活いたします。テーマの中においても、再生可能エネルギーについては子どもたちにとって大きな関心事となることから、こうした子どもたち、市民の皆様への啓発活動についても、ご支援いただければ幸いです。横浜市では、東北地方の皆様との広域連携を行っていますが、世界的な動向の中では、先進国の再生可能エネルギーの導入による後進国、地方の自然破壊の問題も顕在化しつつあります。そうした観点への配慮も行いながら、横浜発の全国をリードするような施策になるよう、大いに民間企業の活用を行っていただければと思います。
お答え				ご意見ありがとうございます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見を参考にさせていただきます	ご意見ありがとうございます	ご指摘の通り太陽光パネルのリサイクルは大変重要であり、市内ステークホルダーの皆様との協働をより一層推進していきたいと思ひます。また、環境絵日記の活動はまさに条例15条のモデルケースになるものと認識しています